

**令和7(2025)年度**

# **「運営に関する計画」**

**大阪市立新北島小学校**

**令和7(2025)年4月**

現状における成果と課題 令和6年度目標別シートからの総括

【安全・安心な教育の推進】

■成果

- ・いじめはどんなことがあってもいけないとほぼ全児童(97%)が認識できている。
- ・学校の決まりや約束を守れている児童が多く(87%)いる。
- ・インターネットの危険性についてほぼ全児童(97%)が認識できている。
- ・学校に行くのが楽しいと感じている児童が多く(84%)いる。
- ・思いやりをもって友だちを大切にしている児童がほぼ全員(99%)である。
- ・多文化共生教育が非常に推進できており、新規で「ワールド交流」も行った。

■課題

- ・校外で決まりを守ることや校外での過ごし方に課題がある。
- ・SNSやインターネットによる適切な使い方に課題があり保護者への啓発も必要である。
- ・友達に対する言葉遣いや態度を行動レベルで上げていく必要がある。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

■成果

- ・多くの児童や保護者(88・82%)が基本的な学習内容の定着はできていると感じている。
- ・多くの児童(94%)が学校の授業をわかりやすいと感じている。
- ・少なくはない児童(79%)が本を読んだり活用したりできている。
- ・多くの児童(84%)が運動やスポーツをすることが好きだと思っている。
- ・多くの児童や保護者(85・83%)はハンカチやティッシュを用意できている。
- ・多くの児童(88%)が給食の嫌いなものも食べようと努力している。

■課題

- ・学習内容の定着に向けさらに丁寧な個々にあった学習環境の充実が必要である。
- ・朝のモジュール学習の精選が必要である。
- ・児童が授業中自分の考えを書いたり発表したりできる機会を増やす(74%)必要がある。
- ・読書活動の推進や図書室のさらなる活用が必要である。
- ・運動では夏の暑さを考慮に入れたカリキュラムの検討が必要である。
- ・常日頃の児童の衛生に対する意識を高め、保護者への啓発も必要である。

【学びを支える教育環境の充実】

■成果

- ・年次休暇の取得(93%)や早い時刻の退勤についての意識が高まってきた。
- ・担任の授業時数の削減や、専科の積極的導入が進んだ。
- ・多くの児童(87%)がICTを活用できており、正しい使用方法の意識(97%)をもっている。

■課題

- ・特別支援学級担任の授業時数の削減を検討する。
- ・学校行事や会議のさらなる精選が必要である。
- ・情報モラルのさらなる推進が必要である。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

学校のルールを守るようにするための働きかけや暴言・暴力を許さない取り組みを行うとともに、情報モラル教育と家庭への啓発を行い、児童にとって安心・安全な場となるような学校の風土作りに取り組んでいく。また、児童一人ひとりの困り感に寄り添い、保護者や関係諸機関と連携しながら児童を支援する。さらに、児童同士が協力し合い安心できる集団作りを行い、一人ひとりが自分の居場所があると感じられるように取り組んでいく。そして、厳しい家庭環境にある児童を含む全ての児童に生まれ育った環境によって左右されることなく、自他のルーツや背景を大事にし合い、互いを尊重し合える集団の育成に取り組むとともに、自己肯定感を高める活動に取り組む。これらの結果として、以下の目標を令和7年度に達成する。

- ・児童アンケートの「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・児童アンケートの「自分には良いところがありますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合を80%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

特別支援教育の視点も取り入れ、基礎的・基本的な学習内容の定着に取り組み、授業に参加するための土台を作るとともに、一人ひとりが授業に参加し、わかる・できる授業作りに取り組み、誰一人取りこぼさない授業の実現に取り組んでいく。また、主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善に取り組み、児童が友だちの考えのよさに触れ、協力して学ぶよさを感じるとともに、図書の本を用いたり、ICTを用いたりしながら主体的に問題解決に取り組むことで、学ぶ楽しさを感じられるようにしていく。さらに、食育や健康教育を通して、自らよりよい生活習慣を身に付けようとする児童に育てるとともに、系統性を意識し、主体的・対話的で深い学びを目指した体育授業作りに取り組むことで、児童が楽しく自ら運動に取り組めるようにしていく。これらの結果として、以下の目標を令和7年度に達成する。

- ・小学校学力経年調査における標準化得点を令和3年度に比べ、0.04ポイント増加させる。
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点を令和4年度に比べ、0.4ポイント増加させる。

### 【学びを支える教育環境の充実】

授業の中で学習者用端末を効果的に使い、協働的な学びに取り組み、学びを深めるとともに、一人ひとりの学びに応じた個別最適な学びに取り組んでいく。また、データ等により児童の状況を可視化し、子どもの困り感を把握し、支援できるように取り組んでいく。さらに、働き方改革として、校務の精選とICT化による校務の効率化を図り、教員が子どもと向き合う時間を確保するとともに、一人ひとりの教師が学びの専門家として成長できるように取り組んでいく。これらの結果として、以下の目標を令和7年度に達成する。

- ・授業日において学習者用端末を毎日使用した児童の割合を100%にする。
- ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。

(様式2)

## 大阪市立新北島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した  
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b> <b>全市共通目標(小・学校)</b> ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を全学年86%以上にする。 (前年度 3年84.5%, 4年85.9%, 5年86.2%, 6年72.3%) <b>学校の年度目標</b> ・児童アンケートの「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を75%以上にする。	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【安全・安心な教育環境の実現(基本的な方向1)】</b> ・年間を通して子どもたちの言動や行動について気になることは、日々の学級指導や児童朝会等で指導をおこなう。 <div style="text-align: right;">(いじめへの対応)</div> <hr/> <b>指標</b> ・長期休みや年度前後に生活指導部会を中心に校内で年6回以上全体指導を行う。 ・月に一回程度、校内サポート委員会・生活指導部会で情報共有する。	
<b>取組内容②【安全・安心な教育環境の実現(基本的な方向1)】</b> ・生活目標を毎月設定し、しっかり守れるように指導していく。 ・安全な生活が送れるように、校内外のきまりを守ろうとする意識を高める。 <div style="text-align: right;">(問題行動への対応)</div> <hr/> <b>指標</b> ・児童アンケートの「ろうかを走らない、時間を守るなど、学校のきまりや約束を守っている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。	
<b>取組内容③【安全・安心な教育環境の実現(基本的な方向1)】</b> ・インターネット(ゲーム、動画、SNS等)の適切な使用ができるように、家庭内でルール作りの定着を図ったり、出前授業等で児童へ指導したりする。 <div style="text-align: right;">(いじめへの対応・問題行動への対応)</div> <hr/> <b>指標</b> ・児童アンケートの「オンラインゲームやLINEを適切に使うことができる」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。	

(様式 2)

## 大阪市立新北島小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した  
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<b>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</b> <b>全市共通目標(小・学校)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</li> <li>・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</li> </ul> <b>学校の年度目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケートの「友だち一人一人のちがいを大切にしている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 90% 以上にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<b>取組内容①【安全・安心な教育環境の実現（基本的な方向 1）】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校児童や欠席・遅刻が増えた児童の実態を把握した上で、保護者や関係諸機関と連携し、個に応じた登校支援を行う。(不登校への対応)</li> </ul>	
<b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の年間 30 日以上欠席をした児童を把握し、月に一回程度、子ども見守り委員会・人権教育部会で情報共有する。</li> <li>・児童が安心・安全に過ごすことができる学級をめざし、児童サポートが中心に、きめ細かい支援を行う。</li> <li>・児童アンケートの「学校に行くのが楽しい」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 85%（前年度水準）以上にする。</li> </ul>	
<b>取組内容②【豊かな心の育成（基本的な方向 2）】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活や学習において、友だち一人一人のちがいに対する理解を深め、児童同士が協力し合い、安心できる集団づくりを進める。(インクルーシブ教育の推進)</li> </ul>	
<b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の実践を年間 6 回以上実施する。</li> <li>・児童アンケートの「思いやりの気持ちをもち、友だちを大切にしている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 90% 以上にする。</li> </ul>	
<b>取組内容③【豊かな心の育成（基本的な方向 2）】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな国や地域の音楽や遊び、歴史に触れる機会を通して、それぞれの文化的アイデンティティを尊重する集団の育成を図る。(多文化共生教育の推進)</li> </ul>	
<b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育部会を中心に作成したカリキュラムをもとに各学年の児童の実態に応じた取り組みを校内で年 6 回以上行う。また、国際クラブの活動や取り組みを、資料や通信を通じて学校内に伝える。</li> </ul>	

## 大阪市立新北島小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を全学年 36% 以上にする。 (前年度 3 年 40.8%, 4 年 26.6%, 5 年 35.4%, 6 年 41.5%)</li> <li>・ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。</li> </ul> <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童アンケートにおける「自分の考えをいかたり、発表したりしている。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70% 以上にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【誰一人取り残さない学力の向上（基本的な方向 4）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習形態を工夫し、個に応じた指導の充実を図る。</li> <li>・ 国語科や算数科の基礎的・基本的な学習内容についての反復学習に取り組む。 (言語活動・理数教育の充実)</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者アンケートの「基礎的・基本的な学習内容が定着している」の項目について、肯定的に回答する割合を 80% 以上にする。</li> <li>・ 児童アンケートの「帯タイムなどで漢字や計算ができるようになった」の項目において、肯定的に回答する児童の割合を 88% 以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【誰一人取り残さない学力の向上（基本的な方向 4）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の中で自分の考えを持つ時間を取り、文や言葉で表現できるようにする。</li> <li>・ 話し合い活動を通して自分の考えを伝え、友だちの考えを知ったり、比較したりすることで考えを深められるようにし、認め合う雰囲気づくりをする。 (「主体的・対話的で深い学び」の推進)</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童アンケートの「学校の授業は分かりやすい」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 88% 以上にする。</li> <li>・ 児童アンケートの「自分の考えをいかたり、発表したりしている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 70% 以上にする。</li> </ul>	

<p>取組内容③【生涯学習の支援（基本的な方向8）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科・領域の学習の中で本を活用できるように計画し、読書にかかわる活動を取り入れる。</li> <li>・学校司書や図書ボランティアと協力し、図書の時間や休み時間に読み聞かせをしたり、イベントを企画したりして、子どもが本に親しめるようにする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(学校図書館の活性化)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケートの「本を読んだり、本を学習に活用したりしている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。</li> </ul>	

## 大阪市立新北島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」を回答する児童の割合を全学年 66%以上にする。 (前年度3年 74.6%, 4年 65.6%, 5年 64.6%, 6年 63.1%)</li> </ul> <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育科の授業において、指導の方法を工夫し、児童が楽しみながら体力・運動能力の向上を図ることができる環境作りに努め、児童アンケートの「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好き」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【健やかな体の育成 基本的な方向5】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育的行事や体力づくりの週間、運動委員会での取り組みなどを工夫し、学校全体として、外に出て体を動かすことの楽しさを持たせ、体力・運動能力が向上するように努める。</li> </ul> <p>(体力・運動能力向上のための取組の推進)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間3回、学校全体で体力づくり週間を行う。</li> </ul>	
<p>取組内容②【健やかな体の育成 基本的な方向5】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回の清潔調べ週間を行い、ハンカチ・はなかみの携帯や手洗い習慣、歯を磨く、顔を洗う、つめを切るなどの体を清潔にすることの大切さを児童へ指導する。また、おたよりなどで保護者への啓発もする。</li> </ul> <p>(健康教育・食育の推進)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケートの「ハンカチ・はなかみを持ってくる」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。</li> <li>・保護者アンケートの「ハンカチ・はなかみを持たせている。」の項目について、肯定的に回答する割合を 73%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容③【健やかな体の育成 基本的な方向5】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動の時間等を活用し、食に対する関心を高めるようにすると共に1日3食の大切さについても指導していく。</li> <li>・苦手の食べ物を食べる経験を、低学年から続けて行い、少しずつでも食べられるようにする。</li> </ul>	



(健康教育・食育の推進)	
<b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケートの「嫌いなものでも食べようと努力している」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。</li> <li>・食に対する関心を高める取り組みを各学年で 1 回以上は行う。</li> </ul>	

(様式 2)

## 大阪市立新北島小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した  
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b> <b>全市共通目標(小学校)</b> ・授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。 <b>学校の年度目標</b> ・1 日に 1 度、児童が学習者用端末を使用して「心の天気」を入力する。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<b>取組内容①【教育DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進 基本的な方向 6】</b> ・日常的に児童が ICT を主体的に活用できるように、学習者用端末の使用機会を毎日設定し、必要な機器やアプリを充実させていく。 (ICT を活用した教育の推進)	
<b>指標</b> ・児童アンケートの「パソコンやタブレットを使った学習にすすんで取り組んでいる」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。	
<b>取組内容②【教育DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進 基本的な方向 6】</b> ・児童の発達段階に応じた情報操作の技能や、情報を正しく安全に利用できるようにするための知識の習得を図り、生活に活かせるようにする。 (ICT を活用した教育の推進)	
<b>指標</b> ・児童アンケートの「学習で使うアプリやパソコン、タブレットを正しく使うことができる」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。 ・年間 5 回の情報モラル教育に取り組む。	
<b>取組内容③【教育DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進 基本的な方向 6】</b> ・出席や学習状況、心の天気などの教育ビッグデータを集積して、児童の心の状態や日々の生活の状況を可視化し、学習指導や児童の支援に生かす。 (ICT を活用した教育の推進)	
<b>指標</b> ・出席や学習状況などのデータの活用・分析を年間 10 回以上行う。	

(様式 2)

## 大阪市立新北島小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した  
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b> <b>全市共通目標(小学校)</b> ・年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 94%以上にする。(前年度 93%) <b>学校の年度目標</b> ・教員のもち時数の平準化と専科制の積極的な導入、一泊移住や学習評価二期制の推進、週 1 回「ゆとりの日」の設定などにより、働き方改革を進める。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況
<b>取組内容①【学びを支える教育環境の充実（基本的な方向 7）】</b> ・教員の代替の体制を整えることで、年次有給休暇を取得しやすい環境を作る。 <div style="text-align: right;">(働き方改革の推進)</div>	
<b>指標</b> ・教員がもつ授業時間の平準化を行い、一人当たり約 2 3 時間とする。	
<b>取組内容②【学びを支える教育環境の充実（基本的な方向 7）】</b> ・会議等の精選や設定日を工夫することでゆとりをもてる日を増やす。 <div style="text-align: right;">(働き方改革の推進)</div>	
<b>指標</b> ・セット時刻および留守番電話設定時刻を 1 7 時 3 0 分とする週 1 回の「ゆとりの日」を実施する。	
<b>取組内容③【学びを支える教育環境の充実（基本的な方向 7）】</b> ・アンケートの電子化や連絡掲示板、個人連絡の活用など必要に応じた校務の電子化を進めることで、業務にかかる時間を減らすようにする。 <div style="text-align: right;">(教員の資質向上・人材の確保)</div>	
<b>指標</b> ・アンケートの電子化率を 50%以上にする。	